

第2学年 英語科学習指導案

令和2年10月29日2校時

那覇市立鏡原中学校2年5組 34名

指導者 渡慶次 尚司

【年間指導計画 (2) 学年(10) 月計画】

1 単元名 Program 6 A Work Experience Program 『SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 p.52 - 61 』

2 単元の目標

(1) 不定詞を用いた文の構造や働きを理解している。【知識】

実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、不定詞や簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身につけることができる。【技能】

(2) 相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したいことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

【思考・判断・表現】

(3) 相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したいことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年度告示)の「(5) 書くこと」に関連する内容を取り扱い、「イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを理解し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする」及び「ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする」ことを目的とする。

言語材料は、不定詞の3つの用法(名詞・副詞・形容詞)である。

題材としては、職場体験を終えた生徒たちが、将来の夢、職場体験の様子、また職場体験で気づいたことなどを話し合い、将来の夢と自分の課題という主旨の内容でスピーチを行う設定である。今年度は、新型コロナウイルスの影響で職場体験が中止となってしまったが、生徒たちは教材を通して、職業に対する意欲や関心を高めることができる内容となっている。

(2) 生徒観

本学級は、互いに協力してペア・グループ活動に取り組むことができる。しかし、6月に行われた学びのたしかめ【県学力定着状況調査】では、那覇市平均正答率 55.4%、県平均正答率 52.3%に対し、本学級の正答率は、52.2%と県平均を下回っている。特に、語彙、熟語、文法に関しては15問中9問が県平均を下回っており、1学年で学んだ基礎的な知識が十分に身につけていないことが伺える。また、「読むこと」に関する問題においても、3問中2問が県平均を下回っており課題が多い。【表1】は、設問ごとに正答率が50%に届かず、県正答率より下回ったものである。

	問題と領域	評価の視点	本学級正答率	県正答率	主な誤答の分析
語彙・熟語・文法	適語選択 (be 動詞)	主語に応じた be 動詞を選ぶことができる	33.3%	45.9%	△主語が複数形であるが、I につられて am を選択している。
	並び変え (否定命令文)	否定命令文の語順に並べることができる	9.1%	16.2%	△命令文を否定する Don't が文頭に置いていない。 △these の意味がわかっていない。
	並べ替え (過去の疑問文)	過去の疑問文の語順に並べることができる	39.4%	47.4%	△主語の人物名 (Fred) が読めていない。 △Did は文頭においているが、動詞と目的語が逆になっている。
	並べ替え (出身をたずねる文)	出身をたずねる文を、where, from を使って適切な語順に並べることができる。	24.2%	26.4%	△疑問詞 where は文頭に置いているが、be 動詞と主語の語順が逆にできていない。
	並べ替え (数をたずねる表現)	数をたずねる How many を使って疑問文の語順に並べることができる	9.1%	31.4%	△How のあとに many ではなく、does をもってきている。 △How many のあとに名詞の複数形の語順ができない。
	語形変化 (冠詞)	冠詞の a を、続く語の音に応じて an に変化させることができる	24.2%	34.0%	△()の前の want につられて「a」を変化させるのではなく、「to」と答えている。
	語形変化 (助動詞 can)	can と合わせて使われる動詞を原形にしておくことができる	36.4%	41.6%	△can の疑問文であるため、can が文頭にある。can の後は動詞の原形だという意識がうすれてしまっており、動詞を plays や playing と変化させている。
読むこと	読むこと (会話文とグラフ)	比較的長い英語の会話文を、グラフと照らし合わせて読むことができる	33.3%	39.0%	△グラフの読み取りに必要な情報が文章の前半にあり、全体的に大まかな内容の読み取りができていない。

これらの結果から、語句や文法的な知識の定着に課題が見られることがわかる。よって、実際の言語使用場面を設定し、コミュニケーションの目的を明確にした言語活動を取り入れ、課題となった言語材料を繰り返し使用させながら、正しい用法を理解させていく必要がある。

また一方で「書くこと」に関しては、県平均正答率を大きく上回っている。

	問題と領域	評価の視点	本学級正答率	県正答率	主な誤答
書くこと	英作文（自由英作文）	自分のことについて簡単な英語で表現できる	69.7%	28.7%	△主語抜けや語順による文法ミス、「On weekends,」に続けて書くという条件を満たしていない。

これは、毎時間振り返りに活用している「自己評価表」による成果であると考えられる。本校では授業を45分で完結させ、残りの5分間で振り返りを行っている。その際、生徒は本時で学んだ表現を使って英文を書き、日本語での視点をもとに振り返りを記入する。教師が毎回カードを回収・チェックし、フィードバックをすることで生徒は自身の英文の正しさやエラーに気づくことができる。このことが「書くこと」に対する抵抗の軽減につながっていく。よって本学級の生徒たちも、間違いをおそれず「書くこと」に対して積極的に取り組めることができていると考える。

(3) 指導観

本単元を通して、読んだ内容や聞いた内容を整理し、既習の言語材料や Program6 で習う表現を用いて、事実や自分の考え、気持ち、その理由を述べ、相手のために助言ができる力を育てたい。

生徒の知識・理解（文法）の定着に対する課題に対しては、普段から対話や文章の流れからふさわしい文の形式を考えさせる問題になれさせる必要がある。また言語活動では生徒の身近にある日常的な話題を取り入れ、既習の言語材料をスパイラルに活用していきながら、Program6 で習う言語材料の使い方を理解させていきたい。

生徒の「読むこと」に対する課題に対しては、年度当初から取り組んでいる帯活動「Warm-up Reading」を継続し、スラッシュ読みを意識させることで、読むスピードを速め、チャンクごとにおおまかに内容を理解できる力を身につけさせたい。

「書くこと」においても、今後は書いたものを生徒同士で読み合い、誤りに気づかせ、修正を加えさせる活動まで段階的にステップアップし、生徒の「書くこと」の力を伸ばしていきたい。

4 単元の評価規準

「書くこと」の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<知識> 不定詞を用いた文の構造や働きを理解している。 <技能> 日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、不定詞や簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したいことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したいことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

5 指導と評価の計画 (8 時間)

時間	○ねらい ・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>○単元の目標を共通確認し、見通しを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Warm-up reading ・ Program6 の新出語句の学習 (読み方) <p>○want to を用いて、将来してみたいことの表現を伝えられるようにする。 (めあて: 「夢の旅行計画を立てよう。」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ to+動詞の原形 (～すること) の文構造を理解する。 【名詞的用法】 ・ 言語活動 ・ やりとり→書く活動→読み合う活動 	○			活動の観察 後日ペーパーテスト
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm-up reading ・ Program6 の新出語句の学習 (英語から日本語) <p>○to+動詞の原形を用いて、目的を伝える表現を言えるようにする。 (めあて: 「同じ目的の仲間を見つけよう。」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ to+動詞の原形 (～するために) の文構造を理解する 【副詞的用法】 ・ 言語活動 ・ インタビュー活動 	○			活動の観察 後日ペーパーテスト
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm-up conversation ・ Program6 の新出語句の学習 (日本語から英語) <p>○to+動詞の原形を用いて名詞を説明する表現を伝えられるようにする。 (めあて: 「あなたが欲しいものについて説明しよう。」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ to+動詞の原形 (～するための、～すべき) の文構造を理解する。 【形容詞的用法】 ・ 言語活動 ・ オサム先生に買ってほしいものをメモ書きで説明する。 	○			活動の観察 後日ペーパーテスト
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm-up conversation ・ Tango de go <p>○教科書本文 Part1、2 の内容理解 (めあて: 「ユキとタケシの職場体験について知ろう」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始めに CD で聞き、まとまりのある英文の意味をつかむ。 ・ 教科書を読んで、「ユキとタケシの職場体験」についての概要をつかむ。 ・ 言語活動 ・ ウッド先生と会話をしているつもりで、即興で自分の考えをやりとりする活動→書く活動 	○			活動の観察 後日ペーパーテスト

5	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm up conversation ・ Tango de go <p>○教科書本文 Part 3 の内容理解 (めあて: 桃子の職場体験について知ろう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桃子のスピーチを聞いて、概要をまとめる活動 ・ 始めに CD で聞き、まとまりのある英文の意味をつかむ。 ・ 教科書の音読 (スラッシュリーディング) <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動 ・ Retelling (ユキ、タケシ、桃子) についての情報を 1 分間でパートナーに説明をする。 	○			活動の観察 後日ペーパーテスト
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm up (Tango de go) <p>○これまでならった表現を用いて、会話のやりとりができる (めあて: ○○さんになったつもりで話をしよう。(なりきり会話))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カードに記入された人物になりきって、やりとりをする。 ・ 自分のカードについて台詞を完成し、書いてまとめる。 		○	○	活動の観察 ワークシート
7	<p>Warm- up conversation</p> <p>○相手が喜ぶような計画を提案することができる。</p> <p>(めあて: 一緒に旅行に行く外国人の友達に、よりよい旅行プランを英語で返信しよう)</p> <p><Activity></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人の友人に、ラインの返信を書く活動 	○	○	○	活動の観察 後日ペーパーテストで類似問題を出題予定
8	<p>単元テスト</p> <p>※表現問題として、パフォーマンステスト (Writing) を実施する。</p> <p>リスニングテスト</p> <p>自己評価表【Can do check、振り返りまとめ】</p>	○	○		

6 単元末におけるパフォーマンステスト

<単元テストの表現問題として出題> 理解問題については省略

設定： 新型コロナの影響が少しずつ緩和され、来年6月には修学旅行に行けることになりました。あなたは班で「京都での自由行動プラン」を話合っています。学校で留守番をするALTのオサム先生に、「自分も行ってみたいな」と思わせるような「京都の自由行動プラン」を英語で書きましょう。

条件

- ① 15語以上で書く
- ② 不定詞「to+動詞の原形」の用法のいずれかを1回以上は使う。
- ③ 自分たちのプランについて自分の考えを述べる。「主語+think that ~」を1回以上は使う。



Dear my students,

Hi, How are you doing? I hear that you will go to Kyoto as a school trip next June. Sounds good! Please tell me your exciting plan!

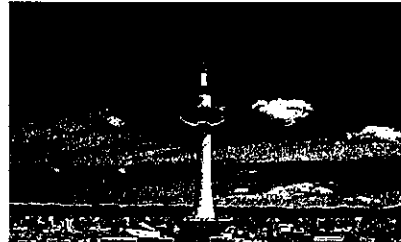
Osamu Nakada



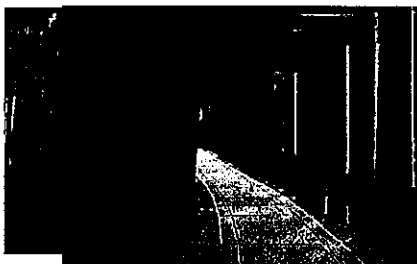
Kiyomizu temple



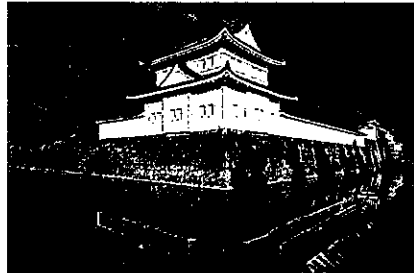
Kinkaku temple



Kyoto tower



Fushimi inari



Nijo castle

<期待する生徒の解答例>

. I want to go to Fushimi inari to see beautiful building. We' ll buy a lot of Japanese traditional snacks to eat. We think that it' ll be so exciting plan.

7 本時の学習 【7/8時間】

(1) 目標

相手が喜ぶ旅行プランについて、事実や自分の考えや気持ちなどを整理し、不定詞やこれまで学習した表現を用いて、まとまりのある文が書ける。

(2) 本時の評価規準

「書くこと」の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<知識> 不定詞を用いた文の構造や働きを理解している。	相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したいことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したいことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

(3) 本時の授業の工夫

- ・「書くこと」の活動において、言語活動の場面設定をし、書く目的を明確にすれば、積極的に「書く」姿が見られるであろう。【主体的な学び】
- ・「書くこと」の活動において、読み合う場面を設定し、文を再構築する活動を取り入れれば、さらに考えを広げ、「書くこと」の育成につながるだろう。【対話的な学び】

(4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価項目(方法)
導入 10分	<p>Warm-up conversation</p> <p>場面：ALT のオサム先生との会話 「週末にしたいことについて」質問をしてきました。</p> <p><会話シートに沿って行う。> 【手順】</p> <p>① First challenge without any hints ② Sharing Times ③ Second challenge ④ Switch the role and Third challenge ⑤ Feedback Time</p>	<p>・既習表現を用いた会話活動を行う。</p> <p>・場面設定を確認し、その人物になったつもりで会話を行う。</p> <p>○1 回目はヒントを与えない。間違えたり、日本語の使用、沈黙があったりしたとしても、そのままチャレンジさせる。</p> <p>○1 回目終了後、言いたかった表現や質問をする方法について確認をする。</p> <p>○2 回目、3 回目は、関連する質問を行うよう指示を出し、1 分間、会話を継続できるように挑戦させる。</p>	

<p>展 開 30 分</p>	<p>・パワーポイントで導入 【外国に住む友人からのラインをパワーポイントで提示し、内容を確認する】</p>	<p>・生徒に場面の状況を確認する。</p> <p>・どうしたら、外国人の友達によりよいプランを伝えられるのだろうか？</p> <p>・生徒からの問いで、めあてを提示する。</p>	
<p>めあて： 一緒に旅行に行く外国人の友達に、よりよい旅行プランを英語で返信しよう</p>			
<p>【B 評価】：相手が喜ぶ旅行プランについて、まとまりのある英文を書くことができる。(15 語程度)</p>			
	<p>【1】 Activity 1 (やりとり) (1) <やりとり① 教師と生徒></p> <div data-bbox="236 907 671 1503" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>やりとり (例) Student (生徒役) Teacher (外国人の友だち役) Teacher: Tell me about your idea? Student: What do you want to do? Teacher: I want to ○○. Student: Oh, we should go to ○○ to ○○. What do you think of this plan? Teacher: I think It' ll be exciting.</p> </div> <p>(3) <やりとり② 生徒同士> 何がしたいか、何のためにそこに行くのか、プランに対する自分の考えや気持ちを即興で伝え合う。</p>	<p>・どうやって英語で返信したらいいか発問する</p> <p>○教師と生徒でデモンストレーションを見せ、アドバイスの仕方の見通しをもたせる。</p> <p>○不定詞を使わせたいので、教師がアドバイザー役になる。</p> <p>○やりとりの手順は電子黒板に示す。</p> <p>○アドバイスなので、自分の気持ちや考えを伝えることも大切だと伝える。</p> <p>○1 回目はやりとりの手順のみ表示してそのままチャレンジさせる。</p> <p>○1 回目終了後、質問をする方法やアドバイスを表現について確認をする。</p> <p>○2 回目は役割を変え、再びチャレンジさせる。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 (概ね満足) 相手が喜ぶようなプランについて不定詞を用いながら自分の考えをまじえて、まとまりのある文を 15 語程度書こうとしている。 (ワークシート)</p>

	<p>【2】Activity 2 (書く活動)</p> <p>(1) 活動内容を確認する ラインに書くメッセージを考える。</p> <p>(2) 外国人の友だちにおすすめのプランと自分の考えを書く。</p> <p>(3) ペアで読み合いを行う。 ・視点をもとにチェックをつける ・エラーをチェックする ・コメント(意見)を書く</p> <p>(4) 友だちのコメントや、教師の助言を参考に、文を再構築する。</p> <p>(5) 書いた文を発表する。</p>	<p><ラインに書くメッセージの条件></p> <p>①これまで習った不定詞「名詞的用法」、「副詞的用法」、「形容詞的用法」のいずれかを使う。</p> <p>②自分の考えや気持ちも書く。</p> <p>【B評価の生徒への手立て】 まずはヒントを与えずに、書かせる。途中、活動が停滞してきたら、教師のモデル返信を電子黒板に示し、全体で共有する。</p> <p>【支援を要する生徒(C評価)への手立て】 全体共有の後、個別にヒントカードを与える。</p> <p>○ヒントとなるイラストをいくつか示す。</p>	<p>(十分満足) 相手が喜ぶようなプランについて不定詞を用いながら自分の考えをまじえて、まとまりのある文を20語程度書こうとしている。 (ワークシート)</p>
<p>終 末 10 分</p>	<p>(1) 本時で学んだことの確認 書いた返信内容を発表する。</p> <p>(2) 自己評価表の記入 ・自己英作文にチャレンジさせる。</p> <p>・振り返りの記入</p>	<p>・生徒数名に英文を読んでもらう。</p> <p>・数名に口答で発表させ、学びを共有する。</p> <p>Mr. Henzan wants to go shopping with you. Where should we go? (to 動詞の原形)を用いて提案する。</p> <p>【予想される英文】 We should go to PARCO CITY to buy new shirts. I hope that it' ll be fun.</p> <p>・もし可能であれば、「I think (hope) that ~」でプラス1文に挑戦させる。</p> <p>・本時で、できるようになったことについて視点をもとに記入させる。【習得】</p>	

(5) 板書計画

Day: Thursday

Date: October 29th

weather: sunny

Aim: 一緒に旅行に行く外国人の友達に、よりよい旅行プランを英語で返信しよう

Can-do 読み手を意識して、まとまりのある英文を書くことができる

【B 評価】

Warm-up

Topic :

Where _____ you want _____ 週末 ?

I want _____ go to 場所 _____ ~するために

< Word Box >

※生徒のつぶや
きや、質問に出
た語句

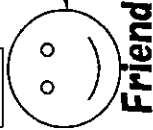


一緒に旅行に行く外国人の友だちに、よりよい旅行プランを提案しよう

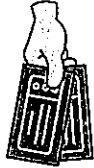
Class 2 - () Number () Name ()



Step1 外国人の友だちに、「やってみたい!」と思うようなプランを書きましょう。

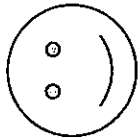


Guess what! I got two「Go To travel」tickets!



既読

Wow!! Sounds great!! I like Plan [] .



You

- word box
- 使える動詞
- drink eat
- sing take
- enjoy bring
- touch use
- make clean
- watch see

条件 ① これまで習った不定詞

「～すること」、「～するために」、「～するための」、「～すべき」のいずれかを1回以上使うこと

② 「I think (hope) that 主語+動詞」を使って自分の考えや気持ちも1回以上書くこと

Step3 友だちからの要望に答える文を文中に書き加えて、最終的にラインに書くまとまりのある英文を完成させましょう!

例) Also I think that you can eat traditional Japanese food. I think it will be great plan!

【評価規準】

主語+動詞を含む
だ文で、

A = 20 語

B = 15 語～19 語

C = 14 語以下

達成したい
自己目標

[]

Step2 友だちの書いたプランを読んで、赤ペンでチェックを入れてリストに○をつけよう。

友だち 1

友だちへの提案や質問 (日本語 OK!)

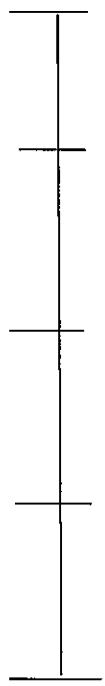
(より楽しいプランになるにはどんな文を書き加えたほうがいい?)

友だちの文を読む視点 (その部分に赤ペンで線を引く)	チェック○
不定詞 (to+動詞の原形) が 1 回以上使われている	
自分の考え「I think(hope)that 主語+動詞」が 1 回以上書かれている	
書いている英文に文法ミス、スペルミスがない (ミスがあれば赤ペンで直す)	

めっちゃ楽しそう!

ふっう

イマイチ



友だち 2

友だちへの提案や質問 (日本語 OK!)

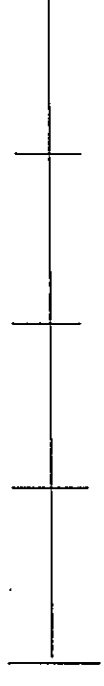
(より楽しいプランになるにはどんな文を書き加えたほうがいい?)

友だちの文を読む視点 (その部分に赤ペンで線を引く)	チェック○
不定詞 (to+動詞の原形) が 1 回以上使われている	
自分の考え「I think(hope)that 主語+動詞」が 1 回以上書かれている	
書いている英文に文法ミス、スペルミスがない (ミスがあれば赤ペンで直す)	

めっちゃ楽しそう!

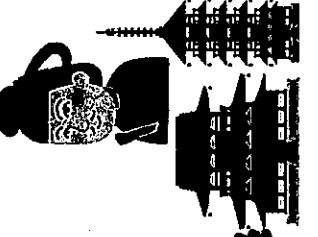
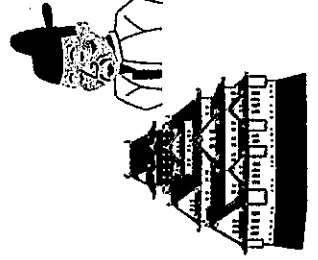
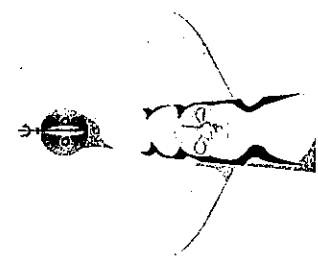
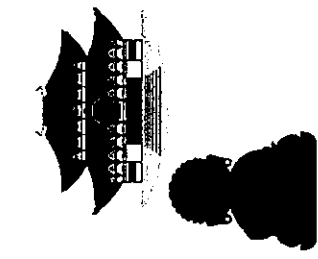
ふっう

イマイチ



Kansai information
(example 例)

[場所]



清水寺 (京都)
Kiyomizu temple

東大寺 (奈良)
Todai temple

太陽の塔 (大阪)
Tower of the sun

大阪城 (大阪)
Osaka castle

金閣寺 (京都)
Kinkaku temple

法隆寺 (奈良)
Horyu temple

[建物]

通天閣 (大阪)
Tsutenkaku



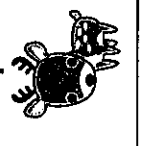
京都タワー (京都)
Kyoto tower



アベノハルカス (大阪)
Abenoharukasu



奈良公園 (奈良)
Nara park



その他 (ごらく) / JinriKisya
Shopping / Manzai / live(concert)など